

入協して一年目は、無我夢中で仕事を覚えていった。先輩や同僚から多くのことを学び、組合員さんとの関係を築くのに時間はかからなかつたと思う。前職の営業職では、無理に商品を売つたり、買つていただいたりする時があつたけど、コープみやざきの仕事はこちらの売りたい商品を「売る」ということはなく、組合員さんがくらしに必要な商品を「買う」のが目的なので、すごく仕事がしやすかつたことを覚えている。元々、楽しいことが好きなので、共同購入の仕事は楽しく、自分にジャストマッチと感じた。組合員さんに喜ばれる仕事、そして「ありがとう!」と言つていただけのやりがいのある仕事だと実感した。

私は、初め専任職職員として採用された。専任職は、共同購入(配達)や店舗、旅行事業など職種を限定した正規職員。共同購入の地域責任者として毎日が充実していた中で、もうひとつの正規職員である組合職職員にステップアップできる仕組みがあることを知つた。組合職になると店舗事業や生活サービス事業、商品部など多種多様な仕事に携われる。一緒に働いていた先輩や同僚が組合職になり、様々な方面で生き生きと活躍している姿を見て、自分も組合職にチャレンジした。

私が組合職員になれたこと、今のエリア長(支所の所長)という役割の仕事をさせてもらえていることは全て、自分に関わってくれた諸先輩や同僚のおかげだと思っている。今はエリア長として7年目。今度は自分が多くの同僚や若い職員に関わって、一人ひとりが成長できるようにサポートし関わっていきたい。

仕事をしていると大なり小なり悩みはでてくるけど、コープみやざきには自分自身で抱え込まなくても相談できる、上司や同僚がいる。悩みや困つてることをオープンにして相談するとストレスも溜まらない。そして、オン・オフを切り替えて、自分のプライベートの時間も全力で楽しんでいることも、ストレスが溜まらない理由だと思う。(笑)

エリア長という役割もあると思うけど、私自身、人の成長にすごく興味があつて、自分自身が関わった職員に成長してもらいたいと常に思い関わっている。仲間みんなの成長が未来のコープみやざきを創っていくし、更にその次の世代のレベルアップにもつながっていくと信じて。

「コープみやざきは、自分自身を『成長』させることができる組織です。私達と一緒に『仕事もプライベートも全力で!』そして楽しい人生を送りましょう!」



Koichiro Todaka
仲間みんなの成長が 未来のコープみやざきを創っていく



「楽しく仕事をする」ことが感動を
つくり自分の成長につながる

それは23歳の夏でした。当時、私は東京の大学を中退して宮崎に戻り、飲料会社の営業の仕事をしていました。営業先でコープみやざきの店舗も訪問していました。「おっ! 孝一郎やない! 元気か?」と声をかけてくれたのは生協で働いている先輩のMさん。高校時代にサッカーをしていた頃、生協にも“コープキャラッツ”というサッカーチームサークルがあり、高校生の私も一緒にプレーさせてもらっていました。Mさんは、その時のサッカーチームの先輩でした。「孝一郎、今の仕事は楽しいか? 実は生協も職員募集をしているから良かったら一緒に働くや!」とMさん。正直、その時の仕事にそこまで面白さや、やりがいを感じられていなかったこと、また一緒にサッカーをしていた生協の他の先輩方も、いつも目をキラキラさせながら楽しそうに仕事の話をされていたのを思い出しました。「Mさん達みたいに楽しく仕事がしたい! 仕事できるかも!」この思いを胸に転職を志しました。

私のモットーは「仕事もプライベートも全力で!」。私には妻と6歳と4歳の息子がいます。プライベートでは、最近“キャンプ”に沼っています。キャンプの魅力は、家族や職場の仲間と自然の中で楽しい時間を過ごすこと! 職場の仲間と行くときは20人~30人になることもありますが食事時だけ集合して一緒に食べて、その他の時間は、それぞれの家族や仲間同士、または1人でなどおののフリーの時間を過ごす。キャンプを通じて職員同士のつながりも作りながら皆で楽しめます。